

エッセイ

鹿追町で得た英語力

播磨 菜々穂

私は鹿追町で十八年間生活し、この春、札幌市に進学のため引越した。鹿追町に住んでいた時には気付かなかった些細な良いところが、札幌に来てから気付くことが多々ある。

水のおいしさや野菜などの新鮮さ。

近所の人との繋がりなど、都会と田舎の違いから日々鹿追町の良さを感じている。

そんな中で、特に自身の英語の力には進学してからとても驚いている。

鹿追高校で勉強しているときは、周りの友人やクラスメイトも英語が得意な人が多く、自分自身の英語力に自信はなかった。しかし、大学に進学すると、私の大学では必須英語が※ライティングの授業、※リーディングの授業、※リスニング・スピーキングの授業の三つに分かれており、自分自身のリスニング・スピーキングの力を実感した。英会話を得意とする学生は少なく、鹿追町で培った会話力に驚いた。

鹿追に住んでいても直接英語に触れたり、カナダとの交流に積極的な町民は決して多くはなく、カナダ学から得られる本当の力や影響を理解している人は少ないと思う。

また、学んでいる生徒や児童自身も、持っている英語の力を実感している人は少ない。私は鹿追町の外に出ることで自分自身の力を知ることができ、自信を持つことができた。

私は看護師を目指しているが、海外の医療や看護についても興味があり、今後は自身の英語力を生かしていきたい。

そして、鹿追町だからこそ得ることができた英語力を誇りに思い、今後もカナダのストニイプレン町との交流、鹿追町の生徒や児童への英語教育にも期待している。

※ライティング(書き方)、リーディング(読み方)、リスニング(聴解力)、スピーキング(話し方)

鹿笛吟社

悪戯に若い雲雀の急降下

揚雲雀右脳左脳のコンサート

懐かしや馬耕の頃の揚雲雀

街中の視線誘なう桜かな

白寿大学俳句

ダイヤモンドダスト一瞬の静寂

十勝晴れ軒の氷柱に透ける青

ギョツギョツと靴と雪とのハーモニー

短歌会詠草

嘘は嘘優しい嘘などありません

初めてでもペットクリニックの待ち合いは

会話飛び交う猫を介して

何ごとも白黒つけて生きたしと

もう終わる卯月の今日の沈む陽に

無駄に引きずる思い託そうか

四季の会

名草の芽色とりどりに出揃って

式終へて顔見せに来る入学児

眼帯のはづれて春の空まぶし

赴任の子五月待たずに里ごころ

夏木句会

待ちわびて苦味広がる露の臺

模様替へ東窓より春の風

川辺 美佳

木俣 君子

高野かおる

藤井 利江

早川 輝子

田村 誠子

伊藤 和夫

白石 知徳

佐藤 悦子

矢萩 悦子

五十嵐利子

久保 秋代

森田 澄子

渡辺 鈴子

高橋とも子

坂本みち子

白石 知徳